Chapter 8**：火花と悪意**

学校では、ようやく日常が戻りつつあった。

**ブースター**と**シャワーズ**は今や控えめなカップルで、授業に一緒に向かい、ノートを見せ合い、机の下でこっそりしっぽをぶつけ合っていた。

彼らの担任は、落ち着いた気品とどこか刺のあるウィットを持つ、優雅な教師――**ニンフィア先生**だった。トランス女性である彼女は、完璧に整ったリボンと、たった一睨みで教室の揉め事を鎮める不思議な力を持っていた。

「恋は戦場よ」と、ニンフィア先生は**モモン茶**をすする。「でも、お願いだからカーペットをまた焦がさないでね、ブースター。」

だが、平和なんて長くは続かない。

**サンダース**の登場だ。

電気タイプの孤児、名前は**ジョルテン**。トゲトゲした毛並みに、半開きの目、制服のたすきは常にズレていて、反抗的な雰囲気を纏っていた。彼の趣味？

トラブルにちょっかいを出すこと。そして、シャワーズにもちょっかいを出すこと。

「よう、シャワーズ」と、彼はロッカーにもたれながら言う。「火がつくたび顔真っ赤になるやつと付き合うの、どうよ？」

シャワーズは目を細めた。「セクハラで感電したいとか、変な性癖でもあるの？」

即座に**ニンフィア先生**が彼の耳をつかみ、「境界線とブートキャンプの話、またする？」と小声で呟きながら引きずっていった。

……が、ジョルテンはやめなかった。そして、**ブースター**はそれに気づいていた。

毎日少しずつ、火と電気だけじゃなく、個人同士の緊張も高まっていった。ジョルテンがシャワーズに近づくたびに、ブースターのしっぽの炎がピクピクと揺れた。

そしてある日の昼休み、ジョルテンが爆弾を落とした。

彼は二人のテーブルに歩み寄り、**一通の手紙**を叩きつけて言った。

「勝負しようぜ。彼女を賭けて。」

教室中が息をのんだ。**ニンフィア先生**ですらお茶を落とした。

「私は景品じゃないわよ！」と、ブースターが唸る。

「お前のものでもないけどね」と、シャワーズがジョルテンを睨んだ。「でも、彼が戦ったら、アタシが治療するから。」

ジョルテンはにやりと笑った。「上等。明日の放課後だ。勝ったほうが彼女をデートに誘える。」

ニンフィア先生がついに立ち上がる。「絶対にダメ。ここは恋愛道場じゃありません！」

だが、ブースターはジョルテンを見据えた。

「彼女をモノのように賭けて戦うつもりはない。でも……もう一度でも侮辱したら、お前の火花を全部焼き尽くす。」

翌日、戦いの場が整った。

体育館の裏手。ジョルテンは火花を散らしながら立ち、向かいには静かに歩み出るブースター。その傍らで、シャワーズは腕を組み、明らかにこの展開にウンザリしていた。

「ほんとにやるの？」と、彼女が聞いた。

ブースターは答えず、ただジョルテンを見据える。「さっさと終わらせよう。」

生徒たちは興奮し、ニンフィア先生ですらノートで顔を隠しながらお茶をすすっていた。

「感情的に不健康極まりないわ……」

戦いが始まる。**かみなり**と**かえんほうしゃ**が激突し、電光と炎が校庭を引き裂く。

――壮絶だった。

だが、長くは続かなかった。

突然、大地が唸りを上げた。

ドオォォォン――**じしん**。

ジョルテンもブースターも地面に叩きつけられ、悲鳴を上げる。ふたりとも、**じめんタイプ**が弱点。完全に無防備だった。

「ちょっと誰よ、じしんなんて使ってるの！？！？」と、ニンフィア先生がリボンをばたつかせて叫ぶ。

その時、体育館の壁が爆発した。

**ガブリアス**、筋骨隆々の体育教師が怒り心頭で飛び出してきた。片手には半死状態の**ピカチュウ**をしっぽで引きずっていた。

「このバカネズミ！！　お前がトレーニング記録じゃなくて、体育館のPCで**ポークス**を検索したの、バレないと思ったか！？　ポークス！？　ポークスだぞ！！」 (ポーキーマン

…)

ピカチュウが情けなく呟く。「アニメみたいなやつかと……でも肉っぽくて……」

シャワーズが即座にフィールドに駆け込み、目を光らせて巨大な**なみのり**を発動。ショックウェーブを抑え、戦場を安定させた。

そしてブースターとジョルテンを助け起こす。二人はまだぐったりしていた。

「……バカ二人」と彼女はつぶやいた。「アタシのために潰れかけてさ……全部ピカチュウの**ポークアニメ**のせいって……」

ニンフィア先生ですら絶句していた。「……この現実からログアウトしたいわ。」

**後日談：**

* ガブリアス先生はピカチュウに**スクワット3週間**の刑を言い渡した。
* ブースターとジョルテンは、無言ながらもお互いに敬意を示し……ジョルテンがボソッと、「……やっぱオレの方がホットだろ」などとつぶやき、ブースターは笑った。
* シャワーズは二人に、「ナンパ禁止・決闘禁止」の**保護観察処分**を言い渡した。